

日本選手コメント【7月13日】

◆鈴木朋樹選手(トヨタ自動車) T54 1500m 予選

「ラップごとにタイムを見るとタイムで拾われるには厳しいかなと思착順に切り替えてみたが、良い走りができなかつた。自分のレースプランの悪さがでた。次の 800mも全力で頑張りたい。帰国したらもう一度、原点に戻ってやり直したい」

◆小野寺萌恵選手(あすなろ屋羽場店) T34 100m予選=決勝進出

「自分では決勝進出できるとは思わなかつたので安心した。決勝までよいコンディションを作つて臨みたい。最低でも 17 秒台を出したい。スタートからピッチのところ左のハンドリングで滑つてしまったので、決勝はそこを注意して走りたい」

100m決勝後 「最低でも 4 位以内に入れると思つていた。入りたいと思つていた。でもベストタイムが出せなかつたので、難しかったです。スタートは滑らずにいくことはできた。スタートが遅いなというのは分かつていた。スタート練習が足りないということは分かつていた。」

◆辻 沙絵選手(日本体育大学) T47 400m予選=予選通過

「この大会は来年につながる大会と思つているので、まずは予選を着順でとつていきたいと思つていたし、走りに関しては前半の 200mは力みがちなのでリラックスして走り、後半の走りで粘り勝てるレース展開を目標にやつてきた。決勝はメダル獲得を目指してしっかり走りたい。」

◆和田伸也選手(長瀬産業) T11 1500m決勝

「(5 位の結果に)ただ悔しいだけの一言。5000mからの流れを変えようとしたが難しかったです。現地に入つてから体調が今一つで影響があつたかな。時差調整はうまくいったが、

長谷部ガイド⇒海外の環境、食事などの環境の違いがあつたかも。来年に向けて競技以外の部分も良い経験になつたと思ふ。」

◆唐澤剣也選手(SUBARU) T11 1500m決勝 銀メダル

「タイム的にはもう少しだつたが銀メダルの結果はうれしい。(トップの選手がスタートからでることは)予想していた。スタートから前にでたかつたが出るタイミングが遅くなつてしまった。ラスト勝負になると思つていたのでラストの 100、200mのところはしっかり足は残していた。初めての 1500mでのメダルはとてうれしいし自身になります。タイム的にはまだまだなので来年に向けてスピ

ード強化をしていきながら今大会の結果を超えるようにしていきたい」

◆伊藤竜也選手(新日本工業) T52 400m決勝 銅メダル

「4 着以内を目標としていたので良かった。自分の中で士気を高めて走った。一緒に練習してきた上与那原選手が 4 位以内に入れなかったことが残念。ベルギーの選手と佐藤選手は別格なのでその二人のことは考えず、ひたすら自分の走りを心がけた。次の 100mについても自分の走りをしていきたい」

◆佐藤友祈選手(モリサワ) T52 400m決勝 銀メダル

「負けてはいけない立場だっただけに、悔しい。応援してくれた人たちに対しても申し訳ない気持ち。言葉にならない。自分のタイムは、今の自分の出せる精一杯のタイムだったかな。このタイムを素直に受け止めないといけない。(金メダリストの走りは)インパクトのキャッチもかなり強いし、ワンストロークの伸びが違った。」

◆上与那原寛和選手(SMBC日興証券) 400m決勝

「全力で走った結果なので仕方ない。思ったように速度が上がらなかった。力み過ぎて後半上げきれなかった。次にむけて一から鍛えます」

聞き手 星野恭子